

NEOVE

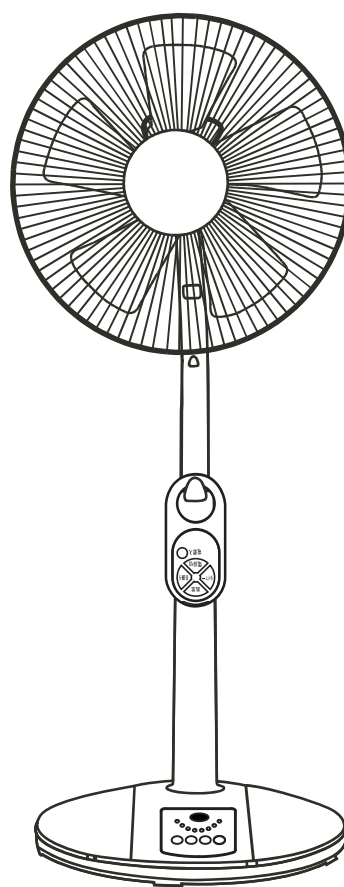
30cmリビング扇風機

型番 FTS30-11R (リモコン式)

一般家庭用

取扱説明書

このたびは扇風機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書とともに大切に、保管してください。



もくじ

設計上の標準使用期間について	1
安全上のご注意	2~3
セット内容と各部の名称	4
組み立てかた	5~6
使いかた・お手入れしかた	7~8
仕様	9
保証規定・保証書	巻末

保証書付

保証書はこの取扱説明書の末尾についています。

● イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

設計上の標準使用期間について

「設計標準使用期間」とは、製造年を始期とし、使用環境、使用条件及び使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による発火・けがなどにより安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間（年数で表す）です。



〔製造年〕 2011年

※〔設計上の標準使用期間〕 約5年（5000時間）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがありますのでご注意ください。

注1) 設計上の標準使用期間は保障期間ではありません。

注2) 設計標準使用期間の明確な定義については、経済産業省から出される省令に規定されます。

注3) 本内容は、今後の審議によって変わる可能性があります。

標準使用条件

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

環境条件	電圧	100 V	製品の定格電圧による
	周波数	50 Hz及び/ 又は60 Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書・据付説明書による
負荷条件		定格負荷 (風速)	製品の取扱説明書による
想定時間など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ 操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

注記 表の温度30℃、湿度65%は、JIS C 9601の試験状態を参考としている。

安全上のご注意

ご使用の前に次の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

●●● 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

●●● 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容








● 図記号の表示例







⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。













●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

 警告	
	<p>●改造しないでください。また、修理技術者以外の方は、分解しないでください。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。</p>
	<p>●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差しをしないでください。 感電やけがをすることがあります。</p>
	<p>●水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。</p>
	<p>●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>
	<p>●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>●交流100V以外では使用しないでください。 直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因となります。</p>

⚠ 警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●羽根・ガードをつけずに、高さ調整ボタンを押したり、モーターを運転しないください。けがをする恐れがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●風を長時間身体に当てないください。健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に電源プラグの清掃をしてください。ホコリがたまっていると湿気による絶縁不良などを起こし、火災の原因となります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず、先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

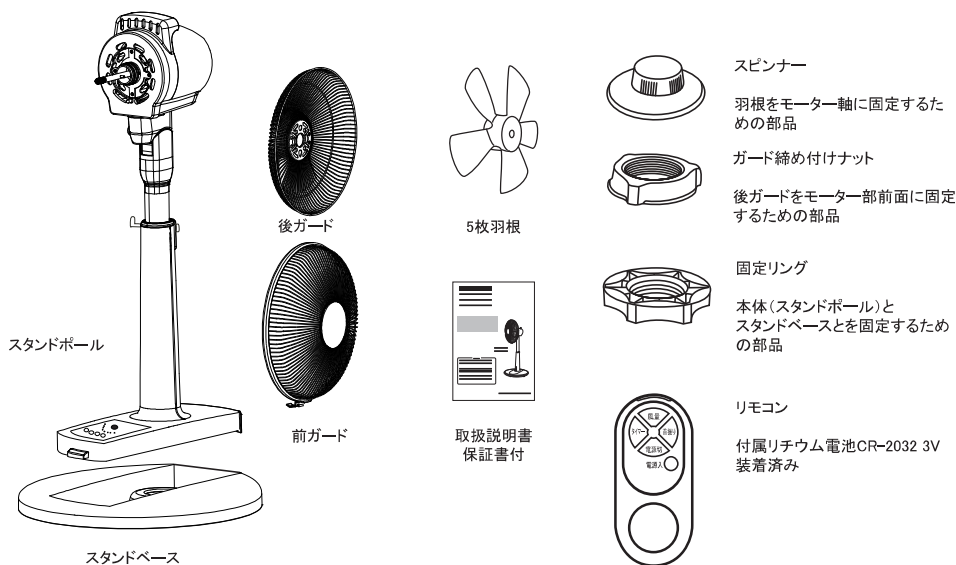
⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●使用時間以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがや火傷、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●羽根に貼ってある注意シールは絶対に剥がさないください。羽根のバランスをとるために貼ってありますので、剥がれてしまうと羽根のバランスが悪くなり、送風時の風切り音が大きくなったり、振動が増えてしまうことがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●次のようなところでは、ご使用にならないください。感電・火災の恐れがあります。「ガスレンジ等の炎のあるところ、引火性のガスがあるところ、雨やしぶきのかかるところ、ホコリや金属粉の多い所」 		<ul style="list-style-type: none"> ●不安定な場所や、カーテンなどの障害物の近くでは使用しないでください。不安定な場所や首振りやをさまたげる障害物があると転倒したり、羽根がカーテンなどを吸い込んだりして、破損や事故の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スプレー(殺虫剤、整髪料)をかけないください。樹脂や塗装部分に変質したり、破損する恐れがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> ●操作ボタンを押す際にはボタンの中心部を押してください。操作ボタンは強く押しすぎたり、操作部に乗ったりしないでください。故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●高さの調整時や風向きを変えるときなど各部のすき間に手や指を挟まないようにご注意ください。 		<ul style="list-style-type: none"> ●本体にタオル等をかぶせて使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●ガードの中や可動部へ指をいれないください。けがをする恐れがあります。 		

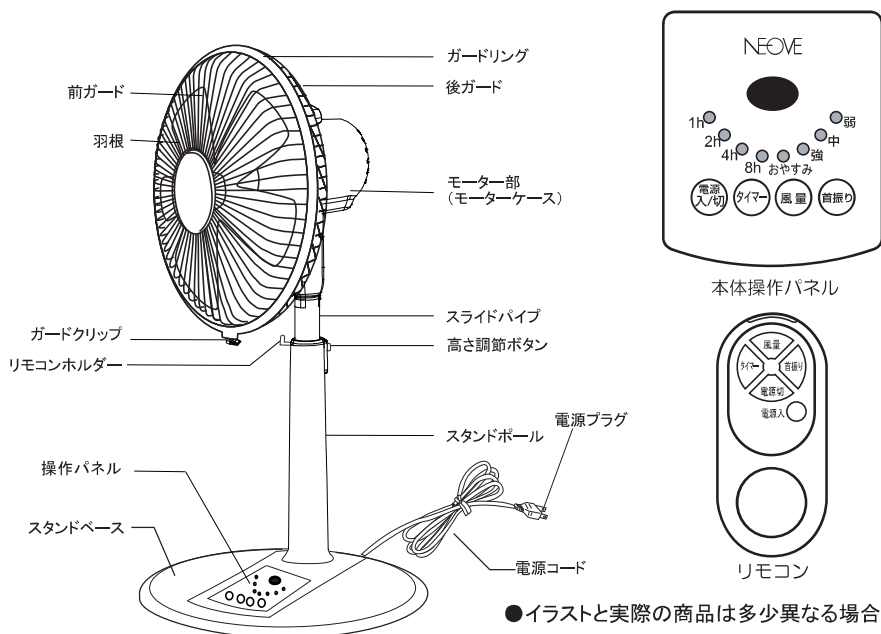
セット内容と各部の名称

セット内容

【組み立て前にセット内容をお確かめください。】



各部の名称



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

組み立てかた



警告

●ガードや羽根をはずしたまま高さ調節ボタンを押さないでください。
モーター部分が飛び出して危険です

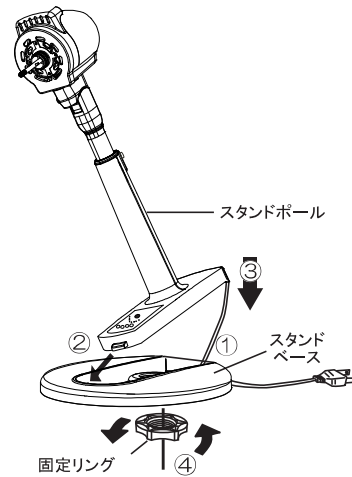


注意

●組み立てる前に電源プラグを差し込まないでください。
●組み立て前や組み立て中に高さ調節ボタンを押さないでください。
モーター部分が飛び出して、けがをする恐れがあります。

1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

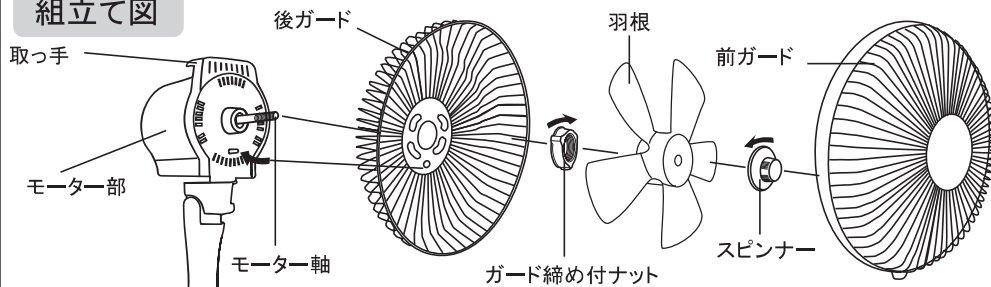
- ①電源コードをスタンドベースの穴へ通してください。
- ②平らな安定した場所に置いたスタンドベースの前部の穴に、スタンドポールの前部を差し込みます。
- ③スタンドポールを押し込み、スタンドベースに確実にはめ込んでください。
- ④固定リングを「時計回り」方向に回して締め付け、スタンドポール底部に確実に固定してください。



ご注意

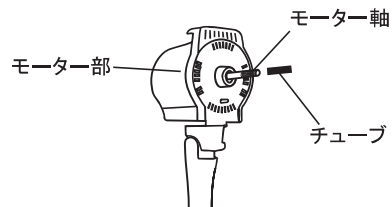
- ▲ スタンドポールをスタンドベースに差し込むときは、高さ調節ボタンを押さないようご注意ください。
- ▲ 指や手を挟まぬようご注意ください。

組立て図



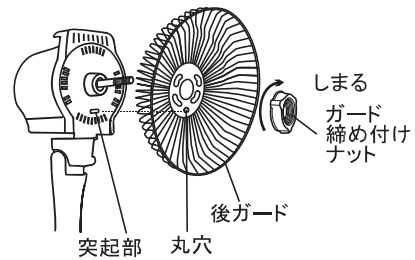
2 モーター軸のチューブを外します。

- チューブは扇風機を保管するときにモーター軸のサビ防止として使用します。
捨てずに保管しておいてください。



3 後ガードを取り付けます。

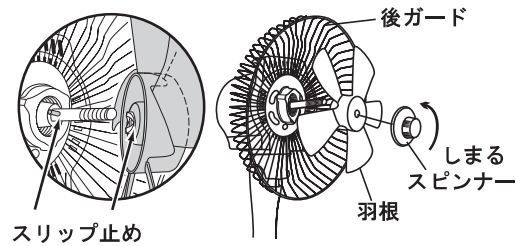
- モーターカバーの突起部と後ガードの丸穴を合わせてはめ込みます。ガード締め付ケナツを「時計回り」の方向へ回し、後ガードをモーターカバーに確実に固定できるまで締め付けます。



ご注意 ガードと羽根が組み立てられていない状態では、モーター部はバネの力で上方を向き不安定な状態となります。手や指を挟んだり、ケガなどしないようにご注意ください。

4 羽根を取り付けます。

- 羽根のスリップ止めの溝とモーター軸にあるスリップ止めのピンが合うようにして羽根を差し込んでください。スピナーを「反時計回り」方向へ回し、羽根を確実に固定できるまでしっかり締付けてください。

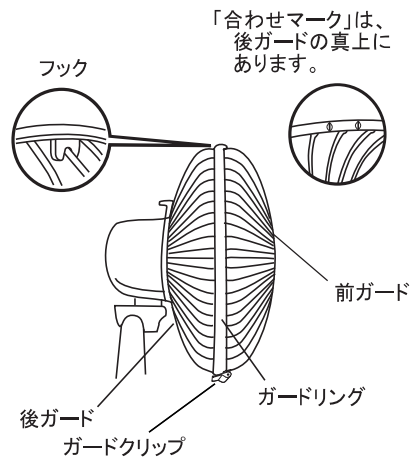


5 前ガードを取り付けます。

- 前ガードのフックを後ガードのマークに合わせて掛け、前ガードを押さえて後ガードの全周をガードリングに確実ににはめ込んでください。前ガードと後ガードを挟み込むようにガードクリップを確実に止めてください。

前ガードを外すときは

- ガードクリップを外し、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードを外してください。
- ガードはその役割上、外れにくいよう設計されていますので、取り付けや取り外しの際にはやや力強く行って下さい。



使い方



注意

電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。電源プラグがコンセントに差し込まれた状態では、僅かに待機電流が流れているために極めて小さな音(ジー音)がすることや操作パネルが少し熱くなることがあります。

操作ボタンの使いかた



停止状態で、このボタンを押すと運転を開始します。
運転開始後、再び押すとすべての運転が停止します。



運転開始後、このボタンを押すと風量が切り替わり、「弱」、「中」、「強」、「おやすみ」風を選択できます。表示ランプが点灯し、風量を表示します。

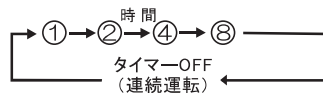
※「おやすみ風」機能について

- 風量調節をマイコンで行い、風を強めたり、弱めたり、止めたりしながら自動運転を行います。

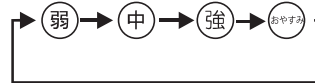
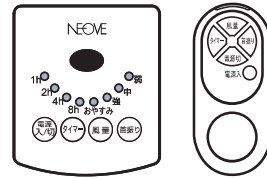


このボタンを押すとOFFタイマーが作動し始めます。

- タイマーの設定時間は、ボタンを押すたびに図のように切り替わり、表示ランプが点灯します。
- 設定時間が経過しますと表示ランプは消え、自動的に運転が停止します。



このボタンを押すと首振りします。もう一度押すと首振りが止まります。(運転中にのみ使用可能です。)



リモコンの操作のしかた

1. リモコンに電池を入れます。

- リモコンを裏返し、電池蓋に書いてある矢印方向に押し蓋をあけます。
- 電池を正しく入れます。必ず⊕面を上にご覧ください。
- リモコン用ボタン電池 型式：CR2032、3V

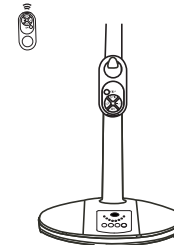
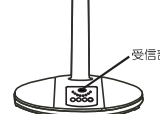
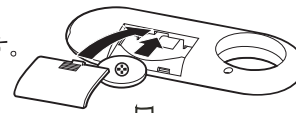
2. リモコンをスタンドの受信部に向けて、お好みのボタンを押します。

- リモコンで操作できる距離は受信部正面で約3m以内です。受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。

※ インバータ照明器具を使用している部屋では、リモコンで作動しない場合があります。

3. リモコンホルダーについて

- リモコンはリモコンホルダーに掛けることができます。リモコンの紛失防止のためリモコンホルダーに収納することをおすすめします。



注意

- 送信部と受信部の間に障害物がないようにしてください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- リモコンの操作距離が短くなったら新しい電池と交換してください。
- 乳幼児やお子様がおぼろげに電池および電池蓋を飲み込まないようにご注意ください。
- リモコンに液状のものをかけたり、落としたり、踏んだりしないでください。故障の原因になります。
- 長時間使用しない時はボタン電池を外してください。

風向きの変えかた

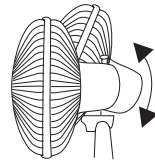
- 風向きを左右に変えたいとき
モーターケースを持って左右に変えます。



- 風向きを上下に変えたいとき
モーターケースを持って上下に変えます。

⚠ 注意

- 首振り運転中に無理やりガードを動かしたり、固定させたり、首振りを妨げる行為はしないでください。
- 持ち運ぶときは高さを一番低い位置にしてモーター部の取っ手を持って運んでください。その際、ガードの中に指が入らぬよう充分気をつけてください。

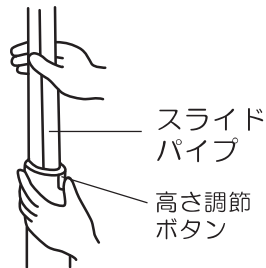


高さ調節ボタンの使いかた

- 高さ調節ボタンを押しながら、スライドパイプを上または下にスライドし、お好みの高さに調節してください。
- 持ち運びする場合には、スライドパイプを一番下に押し下げて固定してください。

⚠ 警告

- 羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。モーター部が飛び出して、けがをされる恐れがあります。
- 高さの調節時や風向きを変えるときなど各部のすき間に手や指を挟まらないようにご注意ください。



お手入れのしかた

- お手入れの前には、必ず「切」ボタンを押して停止させ、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- ガードクリップを外し、ガードリングのツメを外側へ押し、前ガードを外してください。
- スピナーを外し羽根の中心部を持ち、モーターと反対側に引っ張り、羽根を外してください。
- 本体の汚れ及び羽根の汚れは、ぬるま湯(40°C以下)か中性洗剤を浸した布で拭き取った後で柔らかい布で乾拭きをしてください。※羽根の注意シールは外さないでください。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。樹脂や塗装部分の変色、変質する恐れがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりすることがありますのでご注意ください。

保管のしかた

組み立て方と逆の順序で分解してお手入れをした後、次のような点に注意して保管してください。

- モーター軸の汚れを拭き取ってください。
- 本体や羽根についた油はよく拭き取ってください。樹脂が変色したり、破損する恐れがあります。
- お手入れ後、包装ケースに入れて湿気の少ないところに保管してください。

長年ご使用の扇風機はよく点検を

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

愛情点検



こんな症状はありませんか



★スイッチを入れてもファンが回らない。



★ファンが回っても異常に回転が遅かったり不規則。



★回転するときに異常な音がする。



★モーター部分が異常に熱かったりコゲくさいにおいがする。

異常があれば

ご使用中止!!

発煙・発火の恐れがあります。すぐに電源プラグを抜いてください。弊社サービスセンターにご連絡ください。

修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点をお調べになってからお買い上げの販売店または当社のアフターサービスセンターにご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
風量調節ボタンを押しても羽根が回らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？ ● 羽根とガードが当たっていませんか？
羽根は回るが異常音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 羽根は確実に取り付けられていますか？ ● ガードは確実に取り付けられていますか？ ● 羽根とガードが当たっていませんか？
リモコンで動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか？ ● 電池の入れ方(⊕ ⊖ の方向)が間違っていないですか？ ● リモコン送信部と本体受信部との間に障害物はありませんか？

●仕様

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	首振り角度 (度)	電源コード長 (m)	質量 (kg)
100	50	37	1080	165	32	75°	1.8	2.9
	60	41	1050	155	30			

●この製品は、日本国内のみ使用できます。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

●運転停止状態の消費電力は約1Wです。